

(公社)日本ホッケー協会 U15 カテゴリー一部会



第1回常任委員会議事録

期 日:令和6年5月19日(日) 9時00分～15時00分

会 場:YIC 京都工科自動車大学校 TEL075-371-4055

京都市下京区油小路通塩小路下ル西油小路町 27

参加者 (敬称略)

会 長:山田 茂晴 (富山県:蟹谷中学校校長)

顧 問:馬場 治男 (埼玉県:飯能市教育委員会)

事務局長:久保 克敏 (京都府:蒲生野中学校)

事 務 局:徳光 寿 (山口県:末武中学校)

競 技 部:鈴木 良子 (兵庫県:丹南中学校)

審 判 部:尾木 典隆 (奈良県:桜井西中学校)

常任委員:曾根原龍太 (東北)、佐々木亮太 (関東)、松本 大輔 (北信越)

栢元 亮 (東海)、山田 享平 (近畿)、道端 良之 (中国)、

川原 篤 (四国)、石井 幸美 (九州)、

U15 海外遠征事務局:幸田 伸也 (奈良県:郡山南中学校)

常任委員会

・構成員:17名

・出席者:15名

規約第6章第19条に

則り本会は成立

文責:徳光 寿 (事務局)

1 開 会

2 あいさつ

会に先立ち、山田茂晴 U15 カテゴリー一部会会長 (富山県蟹谷中学校校長) にご挨拶をいただく。

3 参加者紹介

4 協議事項

(1) 令和6年度U15 カテゴリー一部会役員 (案) (事務局)

資料 1

- ・2年任期を基本とするが、人事の都合などでその通りにはなっていない。
- ・会 長…今年度全中大会開催地より山田茂晴校長 (富山県蟹谷中) 先生にお願いし、了承をいただく。
- ・副会長…次年度全中大会開催地より式貴志 (香川県ホッケー協会会長) 様にお願いし、了承をいただく。
- ・常任委員、専門委員の交代について確認
異議なく承認される。

(2) 第 54 回全日本ホッケー選手権大会・・・・・・・・・・・・（富山県大会実行委員会、事務局）

・「実施要項」「競技運営規程」「会場関係」その他の検討

別刷資料あり

○暑さ（熱中症）対策のため競技時間の開始時刻を早める意見が昨年度出た（9時からにするか、9時半からにするか）本会議で決定する。

→競技時間を9時とする。（宿泊先の朝食は6時30分から対応可能である）

○上記に加え、暑さ（熱中症）対策として、お昼の時間帯に30分休憩時間を設けてはどうかという提案が実行委員会からあった。

→大会 TD の馬場より、熱中症対策として、ルールを15分の前後半から、7分4クォーターに大幅に変更している。また、これでも心配な状況が起こった場合は、更に試合時間やインターバルを調整することも考えているので十分な対策はできていると思う。

途中に休憩を入れることで、片方の会場はナイター施設もないことから天候等のトラブルで試合が消化できなくなることを避けたい。

よって、お昼の時間帯に30分休憩を設けることは今大会では採用しない方向で考えている。

ただし、昨今の猛暑については尋常でないことは確かである。引き続き、慎重に検討していくべき内容であることを部会として同意形成した。

○クウォーター制の導入 7-1-7 -5- 7-1-7（熱中症対策）

○コート2面を使用するうち、ウォーターベースのコートは縦50m、横29m、サンドベースのコートは縦55m、横30mであることを確認。

○全中大会では代表者会議とはせず、監督会議とし、必ず監督が出席することを確認。（R5.2.25）

・宿泊、弁当要項について

○宿泊施設については、朝食・夕食有りの宿泊施設を優先して確保すること。

○夕食が弁当対応となることはできる限り避けてほしいこと。

○宿泊一覧にホテル内夕食、外食等のわかるように提示すること等を旅行会社に要望。（R6.2.24）

→実行委員会より、すべて宿泊先で1泊2食付きを確保した旨の報告。ただし、宿泊先によっては、近隣のレストランへの案内の可能性がある。

*全中大会および11人制大会の宿泊についての留意事項

- ・大会期間中については、必ず大会事務局を通して宿泊申し込みをする。
- ・弁当については、以前より希望制としている。
- ・全中大会では大会初日（開会式の前）に公式練習を設ける。

・各ブロック参加枠数の最終確認

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	優勝枠	合計
男子	0	3	4	3	2	4	4	1	1	1 富山	1 中国	24
女子	0	2	4	4	2	4	3	1	2	1 富山	1 北信越	24

・全国大会シード権（組み合わせ抽選）及び決勝トーナメントの組み合わせ抽選の確認

全国大会のシード権について やり方：確認（シードが9チームの場合）

①前回の全中でベスト4に入った府県ブロックを先に分ける。

②その後、各ブロックのシード校をランダムに抽選する。但し、予選会を行わずに全中に参加をしている府県はシード扱いをしない。

よって、1つのブロックの中にシード校が2つの入る所ができる。

具体的には・・開催地枠と今年度のベスト4に入ったブロックは、同ブロックにシードチームが2つ入らないように抽選をする。

令和5年度男子ベスト4 優勝：Hiroshima BVHC（中国）、準優勝：岩手U-15HC（東北）
3位：伊吹山（近畿）、川西・米二（東北） R6開催地枠 富山（北信越）
令和5年度女子ベスト4 優勝：朝日（北信越）、準優勝：蟹谷（北信越）
3位：かかみがはら中央クラブ（東海）、今市（関東）
R6開催地枠 富山（北信越）

上記結果により、令和6年度の男子については、開催地枠（北信越・富山）と中国ブロック、東北ブロック、近畿ブロックの1位の4チームについては、先に抽選を行い、この4チームについては同一ブロック内に入らないようにする。その後、他ブロックの1位を抽選する。女子も同様に行う。

<その他> (U15事務局)

- ・JOC有望選手のトロフィーについては、U15カテゴリー部会で準備。
- ・全中大会の手当者については、日本ホッケー協会に登録された者であること。（要注意）
- ・決勝トーナメントの組み合わせ抽選について

令和5年度まで決勝トーナメントの組合せは、予選リーグの試合が全て終了した時点で抽選を行っていたが、令和6年度富山全中からは、事前に決勝トーナメントの組合せ表に入る。組み合わせ抽選はおこなわないことを確認。（R6.2.24）

大会要項・レギュレーション等は決まり次第日本ホッケー協会およびU15カテゴリー部会HPにアップする。

(2) 令和5年度決算報告および事業報告について (事務局)

資料2・資料3

異議なく承認される。

(4) U15カテゴリー部会規約＝確認＝

資料4

規約について下記の変更点（すでに昨年度末に承認済み）を確認した。

第5章 役員及び任務 第7条 本部会に次の役員を置く

	変更前		変更後
1	会長 1名（学校長）	→	（学校長もしくは都道府県ホッケー協会長）
2	副会長 1名（学校長）	→	（学校長もしくは都道府県ホッケー協会長）

(※) U15カテゴリー部会規約と全中内規事項

令和4年度までU15カテゴリー部会では「この大会は学校管理下である」ということを強く打ち出し大会を運営してきた。令和5年度より地域クラブ活動（クラブチーム）が参加し、本大会を実施している。当部会は、今まで通り学校の部活動として参加をする場合は、義務教育である中学校の活動であることが大原則であることから「学校管理下」、クラブチームについては、代表者が責任ある立場として（学校でたとえと学校長）責任を持って（保険への加入、保護者への説明責任等）大会への参加をおこなうことが重要なポイントになる。

第2章 目的

第3条「本会は（日本中学校体育連盟規約に従い）日本ホッケー協会と協力して）ホッケー競技をとおして体育の振興と、中学校体育の健全な発達を図ることを目的とする。」

(5) 全国大会内規事項等について＝確認＝

資料5

全国大会参加資格について、昨年度末での下記変更点を確認した。

クラブチームの参加規程について協議を行い、以下のように変更された。(R6.2.24)

- (2) ⑥ クラブチームの登録選手は、一旦提出された登録名簿から年度途中に選手がチームを変更することはできない。(少なくとも全国大会終了まではできない。)但し、新規登録はこの限りではない。※新規登録：どこのチームにも所属していなかったもの。

・合同チーム編成条件の再確認 →協議(8)で

資料6

- * 学校長の承認は必要・・・学校管理下による大会実施を守る
- * 教員(部活動指導員含む)による引率は必ず必要である
- * 合同チームとして認められる範囲(チーム数)は特に設けない。(R6.2.24 承認)
- * レンタルによる合同チームについては、現状では全国大会については認めることはできない。

・北海道の参加はなし

・R6年度以降の全中大会開催地について

R6：北信越ブロック<富山県で開催>

R7：九州ブロック→四国ブロックに変更(香川県：男子 愛媛県：女子 で決定)

R8：中国ブロック<令和6年度中に全中開催地の内定を目指す。>

R9：近畿ブロック、R10：関東ブロック、R11：東海ブロック

※令和6年度中に令和8年度の全中開催地の内定を目指す。

R8年中国ブロックについて、本年度中に内定、決定へと進めたい。

(6) 令和6年度事業計画(案)・予算(案)について

＝「事業計画」＝

資料7

- ・ブロック大会日時と会場の確認

＝「収支予算書」＝

資料8

JHAより「JSC助成金(Toto助成等)」等を積極的に申請していただき、補助金での運営を進めていく事ができるようになってきている。

(7) U15カテゴリー一部会協力金について

資料9

＝個人登録料を始めた経過＝

*H24年度全国委員会(H24.8.17.)において、今後も継続的にU15海外遠征を続けていくにあたって、引率スタッフの自己負担を軽減するための補助金として、中学校部会「協力金」の値上げすることで同意を得た。

*なお、具体的な金額等について検討(H24第2回常任委員会、H25第1回常任委員会にて)した結果、選手1人に対して登録料として協力してもらうことが、公平感があり良いという結論に至った。

*H25年度全国委員会(8/16)にて承認され、中学校部会として登録料を徴収することとなった。

*令和6年度の「登録料」徴収について

- 1)各常任委員から、ブロック内各チームに「個人登録料」の納入について連絡
- 2)併せて、常任委員は、ブロック内各チームの6/1現在の部員数を調査し事務局に報告

※報告先＝事務局会計：阿部

3)別紙「資料9と9-2」の要領にて、各チームは6/28までに登録料を納める

2)各常任委員は、納入の滞っているチーム等に催促をする

○JHA 登録料と U15 カテゴリー部会個人登録料(1000 円)について

各ブロックにおいても、個人登録料についてご理解いただき、今年度も実施する。

今年度についても、個人登録料として1人1,000円を納めることとした。

(8) 合同チームの承認について

・男子7+1（昨年度7）チーム、女子6+1（昨年度6）チームが申請《申請状況5月12日現在》

以下の学校を承認した。また、拠点校部活動の参加についても常任委員会の場で確認する。

ブロック	男子	女子
東北	宮城（栗原西5・古川黎明1） 山形（川西5・米二2・米三2） 福島（棚倉16・塙1・郡山ザベリオ1・浅川1）	宮城（築館3・栗原西1） 山形（川西12・米五1）
関東	栃木（大沢12・落合2）	山梨（白根御勅使13・白根巨摩3）
北信越	新潟（巻西13・西川1） ※拠点校部活動	新潟（巻東6・西川3・内野2・小針1） ※拠点校部活動 富山（蟹谷6・津沢6）
東海	なし	なし
近畿	京都（蒲生野3・瑞穂3）	京都（瑞穂12・蒲生野1）
中国	山口（玖珂2・末武1・高森みどり6） 岡山（磐梨13・吉井1）	山口（玖珂9・高森みどり1）
四国	なし	なし
九州	なし	なし

(9) 地域クラブ活動の全中大会出場の承認について 《申請状況 5月12日現在》

男子19チーム（昨年度13チーム）、女子15チーム（昨年度13チーム）

以下のクラブチームについて承認した。

ブロック	男子	女子
東北	○岩手 岩手U-15ホッケークラブ(13) ○青森 青森県中学生ホッケークラブ(7)	○岩手 岩手U-15ホッケークラブ(19) ○青森 青森県中学生ホッケークラブ(7)
関東	○東京 フリークス東京U15(8) ○埼玉 飯能ジュニアホッケークラブ(16)	○東京 フリークス東京U15(9) ○埼玉 飯能ジュニアホッケークラブ(15)
北信越	なし	なし
東海	☆静岡 SHC(7) ☆岐阜 かがみがはらホッケークラブ(15) ☆三重 ナバリスタホッケークラブ(12) ☆岐阜 岐阜ジュニアホッケークラブ(5) ○愛知 NPO法人愛知スポーツクラブ(6) ○岐阜 可児UNIC FHS(10)	☆岐阜 かがみがはらホッケークラブ(25) ☆岐阜 岐阜ジュニアホッケークラブ(4)
近畿	☆兵庫 HC HYOGO HEARTS(37)	☆兵庫 HC HYOGO HEARTS(9)
中国	☆岡山 総合型瀬戸スポーツクラブ瀬戸ホッ	☆岡山 総合型瀬戸スポーツクラブ瀬戸ホッ

	ケークラブ中学校の部(12) ○広島 Hiroshima Buena Vista HC(15)	ークラブ中学校の部(15) ○鳥取 鳥取ホッケークラブ(7)
四国	○香川 綾川ホッケークラブ(8) ○愛媛 松前ホッケークラブ(19)	○香川 綾川ホッケークラブ(6) ○愛媛 松前ホッケークラブ(9)
九州	☆長崎 川棚ホッケークラブ(5) ☆宮崎 ALL STICKS CLUB(11) ○大分 大分アスリートホッケークラブ(21) ○佐賀 伊万里クラブ(15)	☆宮崎 ALL STICKS CLUB(5) ○大分 大分アスリートホッケークラブ(14) ○佐賀 伊万里クラブ(9) ○長崎 川棚ホッケークラブ(1)

※かっこの中は登録人数、☆：新規登録のチーム、○：更新登録のチーム

(10) エリートアカデミーについて

- ・FTEM の推進について（強化育成本部：馬場先生）

アンダーカテゴリー強化育成副部長の馬場様より JHA が進める「FTEM」についての説明をいただいた。その後、U15 の行う代表選考会について中央選考会の前に各地区での選考会の実施について議論をおこなった。最後に強化育成部寺本氏から再度説明をいただいた。

地区選考会について、今年度に各地区で実現できるプランを7月中旬までに検討し、馬場宛に提出してもらおう。（集約は馬場が行う）

(11) 競技部・審判部より

＝競技部＝

全中レギュレーションについて近日中に提案することの報告があった。

＝審判部＝

西日本6人制で行われたサークル無しのルールについての情報交換を行った。

(12) 第24回都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会について

- ・日程：令和6年11月9日（土）、10日（日）
- ・大会参加費 40,000 円
- ・大会出場選手、スタッフの事前確認やプログラム作成にあたりU15カテゴリー部会の協力、開会式の簡素化、U15 テント借用など具体的な調整を行う。」

★今後の11人制大会に向けて、令和4年度に中学校部会内に「11人制実行委員」を立ち上げた。U15カテゴリー部会の競技部を中心として各ブロックの次世代リーダーを募り、活動している。

- ・今後の11人制大会の開催地について（事務局）

→福井県で継続的な開催を確認した。

(13) U15 海外遠征について

- ・令和6年9月14日（土）～16日（月） U-15 ジュニアユース選手選考会実施予定
 場所：宮城県栗原市築館多目的競技場、宮城県栗原市一迫多目的広場

- ・海外遠征のスタッフについて

U15 カテゴリー部会としては、来年度は男子監督を松村洋介（岩手：川口中）、女子監督を山田享平（和歌山：吉備中）の2名を中心に今後スタッフを決定する。

上記の確認をおこなった。

連絡事項・その他

- (14) 全中大会優秀選手について（選考方法：確認）

選考方法を確認し、異議なく承認される。

- (15) ブロック大会結果について

・ブロック大会（全中ブロック予選）の結果は各ブロック常任委員でホームページにアップをする。

- (16) 地区（東・中・西）代表選手の選考～表彰について（+賞状配布）

・地区優秀選手（東・中・西）については、全地区がそろい次第、事務局で一斉にホームページにアップする。

・「認定証」の作成、配布について確認。

- (17) その他

・U18（女子）マレーシア国際大会への参加について

U15 カテゴリー部会ウェブページに掲載して、生徒に周知する。

・JHA の状況について（報告）

JHA 理事（久保）より日本ホッケー協会の現状について報告があった。

・能登半島地震について

1月1日におこった能登半島地震におけるU15 カテゴリー部会としての対応について、色々と検討を重ねた結果、被災地にもかかわらず、今年の中大会の開催に向けて御尽力をいただいている富山県に対して、U15 カテゴリー部会の財源から富山県全中実行委員に対して寄付金をするという案が出た。

各ブロック各チームにこの案に対する可否を確認していくことを確認した。

・全中大会について

今後に向けて以下の要望が出された。

・登録人数の増加

・同一クラブチームから複数のチームの出場 など

U15 カテゴリー部会では、日本中体連の状況や各競技団体の状況など、日々連携や情報収集をおこないつつながら、様々な要望等に対して変更するか否かを議論していくことを確認した。

・常任委員会（第2回）の日程・場所の確認

日程：2月23日（日）9時～15時 場所：京都